

平成31年度 年間授業計画

1 学年・科目・単位数

第2学年 数学Ⅱ 2単位

2 担当教員

3 教科・科目のねらい

数Ⅰの学習内容を再確認し、年間を通じ、より高度な数学に取り組める力を育成する。
また、工業科目に対応できる数学力の育成に努める。

4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	複素数と方程式 ○式の計算 (8～12時間)	○三次の乗法公式および因数分解を理解し、計算できる。 ○整式の割り算ができる。 ○分数式の約分、通分を学ぶ。	○概念の理解と計算の正確さ。 ○日常的な学習習慣の育成。
	○複素数と2次方程式 ○高次方程式 (10～14時間)	○複素数を定義、四則計算できる。 ○2次方程式の解を求めることができる。 ○高次方程式を解くことができる。	○概念の理解と計算の正確さ。 ○日常的な学習習慣の育成。 ○工業科目に通じる数学力の育成。
2	図形と方程式 ○点と座標 ○直線の方程式 (10～14時間)	○平面上の座標や距離を求めることができる。 ○与えられた条件から直線の方程式を求めることができる。	○概念の理解と計算の正確さ。 ○日常的な学習習慣の育成。 ○工業科目に通じる数学力の育成。
	○円の方程式 ○不等式の表す領域 (10～14時間)	○円の方程式を導き、円の方程式について理解できる。 ○円や直線で分けられる領域を理解する。	○概念の理解。 ○工業科目に通じる数学力の育成。
3	いろいろな関数 ○三角関数 (12～16時間)	○三角関数を定義する過程を理解できる。 ○一般の三角関数の値を求めることができる。	○概念の理解と計算の正確さ。 ○工業科目に通じる数学力の育成。

5 使用教科書・副教材他

高校数学Ⅱ 新訂版（実教出版）・高校数学Ⅱ 新訂版 スタディノート（実教出版）

6 評価方法・観点

各定期テスト（100点×5回）・授業態度（20点）・提出物の提出状況（10点）・出席状況を総合的に点数化し、度数分布に基づき5段階評価をする。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。